研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-190		17-059	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

The association of Social Anxiety Disorder, Alcohol Use Disorder and reproduction: Results from four nationally representative samples of adults in the USA.

社交不安障害者の飲酒状況と出産との関連：米国成人代表 4 集団での研究結果

執筆者

Beyon Miloyan, Adam Bulley, Ben Brilot, Thomas Suddendorf

掲載誌

PLoS One. 2017 Nov 21;12(11):e0188436. doi: 10.1371/journal.pone.0188436. eCollection 2017.

キーワード	PMID
社交障害、アルコール使用障害、出産	29161319

要　旨

目的：

社交不安障害（Social Anxiety Disorder, 以降 SAD）とアルコール使用障害（Alcohol Use Disorder, 以降 AUD）とはどちらも非常にありふれた疾病・状態であり、両障害が共存することも少なくない。一般集団を対象とした研究では、AUD に先だって SAD が存在していると報告されている。また、アルコール使用により社会不安を有する個体においても社会的行動が促されることが基礎研究で示されている。これらのことより我々は、社会不安を有する個人はアルコールを使用することで伴侶をみつけやすくなり、出産にもつながると考えた。そこで「生涯で SAD と AUD の両方の診断を受けた人は SAD のみの人に比べ（少なくとも子供一人を）出産する事が多い」との仮説をたてその検証を行った。

方法：

国民の代表性を有する 4 つの横断研究を個人ベースで統合し 65,000 人以上のデータをメタ解析した。その結果をさらに 4 研究のうちの 1 つの集団を 10 年追跡したデータにて妥当性検討を行った。

結果：

生涯で SAD 診断を受けたことは出産との関連を認めなかった。しかし一方で、生涯で AUD 診断を受けたことは出産と正の関連を有していた。SAD の既往者で出産した人の割合は、AUD の有無と統計的な関連を認めなかった。

結論：

SAD 関連の解析全てにおいて、かなりの不均一性（訳注：集団間の特性の違い）が認められた。このことは、SAD と出産とを結びつける他の因子の存在を示唆しており、それを明確にすることが今後の課題である。